# 市政の窓

3月1日、令和3年3月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和2年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

**●新型コロナウイルスワクチン接種**

新型コロナウイルスのワクチン接種が本格的に開始される状況となり、本市においても、迅速かつ適切にワクチンを接種いただけるよう2月1日に「新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム」を立ち上げました。現在、4月に予定されている高齢者の皆さんへの接種開始に向けた準備に取り組んでいます。

ワクチン接種模擬訓練

**●ひとり親世帯臨時特別支援金**

国の施策である「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給対象から外れた児童扶養手当支給世帯に対し本市独自の支援金として、1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を3月中に支給し、コロナ禍の影響を受けている低所得のひとり親世帯を支援します。

**●修学旅行取消料支援金**

市内中学校の修学旅行を3月中の実施に向けて準備を進めていますが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止・延期となり、キャンセル料が発生した場合に、保護者の方々に対し、キャンセル料の一部を補助します。

**●選挙時における新型コロナウイルス感染症予防対策**

本年5月16日に執行予定の市議会議員一般選挙に向けて、投票所での選挙人の密の回避や混雑整理のための備品を購入します。

**●吉野川市スーパープレミアム付き商品券**

新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる市内の地域経済活性化を図り、本市の事業者を応援するため、市民の皆さんを対象としたプレミアム率100％の「吉野川市スーパープレミアム付き商品券」を発行します。

## 令和3年度当初予算

令和3年度当初予算は、早期の財政危機突破に向け、これまでの編成方針を大幅に見直すとともに、内部管理経費の徹底的な見直しや既存事業の規模縮小・再構築する一方で、これまでの懸案事項の解決や新たな課題への対応にも積極的にチャレンジする、メリハリある予算編成としました。

財政危機〝突破〟に向けた道筋となる、予算編成第1弾として、一定の成果が得られたものと実感しています。

なお、本年1月から実施している特別職3名の給与10％カットは令和3年度も引き続き1年間継続します。また、管理職手当の10％カットを令和3年4月から1年間実施します。（関連記事6～9ページ）

## 第4次行財政改革大綱および実施計画の見直し

本市の「中期財政見通し」の厳しい試算結果を踏まえ、これまでの取り組みを大幅に見直した『第4次吉野川市行財政改革大綱および実施計画』の改定に向け、現在作業を進めています。

今後も引き続き、財政危機の突破に向け、行財政改革の着実な実行に全庁を挙げて取り組んでいきます。

## 歳入確保に向けた新たな取り組み

**●公用車への有料広告の掲載**

民間企業などとの協働により新たな財源を確保し、市民サービスの向上および地域経済の活性化を図るため、市が所有する公用車への有料広告掲載に新たに取り組みます。

**●企画提案型有料広告募集**

令和3年度からの新規事業として、民間企業の発想やアイデアにより、市が保有するあらゆる財産を広告媒体として活用する、新たな有料広告の企画提案を募集します。

**●市有施設へのネーミングライツの導入**

昨年4月にオープンした吉野川市民プラザなどの施設に、企業名や商品ブランド名などを冠した愛称を命名する権利を付与する『ネーミングライツ制度』を令和3年度より導入します。

## 第8期介護保険事業計画の策定

介護保険は、高齢者を支える社会保障制度として、着実に役割を果たしてきましたが、年々増加を続ける給付費や多様化するニーズを背景に、さまざまな課題に取り組むことが求められています。令和3年度から始まる第8期介護保険事業計画では、「住み慣れた地域で支え合い、自分らしい生活が送れるまちづくり（地域包括ケアシステムの深化・推進）」を基本理念として計画を策定しました。

また、この第8期計画の策定に併せ、65歳以上の方（1号被保険者）の介護保険料の見直しも行います。

## 川島こども園の公私連携幼保連携型認定こども園への移行

多様化する教育・保育ニーズや地域子育て支援の充実などに対応した、より効果的なこども園運営を行うため、令和5年4月より、川島こども園を人員配置や教育・保育などの運営に市が関与しながら、民間法人が運営する「公私連携幼保連携型認定こども園」へ移行したいと考えています。

移行にあたっては、保護者の皆さんに対する説明や意見を聴取する機会を確保します。

## 都市再生整備事業による中心市街地活性化の推進と鴨島駅周辺整備事業

吉野川市の玄関口である鴨島駅の利便性向上と賑わい創出を目的とした鴨島駅周辺整備は、JR四国との協議も整い、昨年末に工事に着手しました。

現在施工中の市道の拡幅工事と駅前駐車場・駐輪場の整備工事は3月末の完成を目指しています。また、鴨島駅前ロータリーの整備は、4月以降に工事発注する予定となっています。

鴨島駅周辺は通勤・通学などで多くの方々が利用する場所であり、工事期間中の安全確保には十分注意します。

## 全国高等学校総合体育大会の開催

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が令和4年7月から8月にかけて四国4県の連携・協働により四国ブロックで開催されます。

本市では、吉野川市アリーナでバドミントン、上桜スポーツグラウンドでサッカーの2競技が開催される予定です。

本大会が夢と感動にあふれる心に残る大会となるよう、万全の準備を進めるとともに、本市の誇れる魅力を積極的に発信し、交流人口の拡大につなげたいと考えています。

インターハイの会場として使用される予定の上桜スポーツグラウンド

## FC徳島ホームタウン事業

徳島市を拠点として活動し、四国サッカーリーグからJFL（日本フットボールリーグ）昇格を目指しているサッカークラブ『FC徳島スポーツクラブ』が、本市への活動拠点の移転を検討しています。

これを本市にとって、スポーツを生かした地域活性化に寄与する格好の機会と捉え、有志による「FC徳島ホームタウン推進協議会」を昨年末に立ち上げました。

今後は、スポーツ振興や市民の競技力向上はもとより、地域活性化につなげることができるよう、FC徳島スポーツクラブの拠点移転に向けた取り組みを進めたいと考えています。

## 四国大学との連携事業

包括連携協定に基づく連携事業として、昨年8月に市民プラザで「光工作教室」「光プログラミング教室」を開催し、参加者の皆さんから大変好評を得ました。

今回は令和3年度体験講座として、文化研修センターにおいて、4月から9月にかけて全体で10回コー